平成28年度 社会福祉法人恒和永千会 事業報告(概要)

今年度は、年度途中に入所定員を満したことで、収入増となり、安定した事業経営を行うことができる。年間を通し、施設入所希望の問い合わせや見学も多く、待機登録をされる方もあった。

また、短期入所について、定期的に利用される方はもちろん、利用したいという希望者が増え、年間を通して稼働できていた。そして長期に渡り、利用を希望される方も多い。

一方、岡山市の日中一時支援事業は、5月からスタートするが問い合わせはなく、利用が全くなかった。今後の対策を考えていきたい。

サービスに目を向けると、職員の言動及び対応、清掃が行き届いていない等、不満足な面の指摘を受ける中で、第三者委員会の方の助言を受けながら、質の向上へ向けた取り組みについて共通認識を図るようにした。

人材育成において、内部での研修をはじめ、研修内容を吟味しながら、なるべく多くの職員に対し、外部研修への派遣を行うとともに、自己研鑽に努めてもらう。他施設の見学を行い、実際に肌で感じてもらい、自分の中で次につながるものを見つけ出せることをねらいとしてきた。

また、神奈川県障害者支援施設で起きた痛ましい事件を踏まえ、防犯への更なる意識を高めていくために、警察に依頼を行い防犯研修を行なう。外部からの不審者侵入対策として感知センサーを完備する。更なる対策として、施設内外への防犯カメラの設置について検討しているところである。

地域貢献活動について、具体案が出ないまま一年が過ぎたため、地域の方の声をいただきながら進めていきたい。

本場

1. 生活介護事業

① 日中活動の充実に向けた取り組み

・他事業所の見学を行ない、事業所ごとの活動内容を見ることが出来た。

ぼればれで取り入れる物は取り入れることもできた。

また、4月よりクラブ活動を発足し、計5クラブが毎月実施でき、日中活動が充実できるよう取り組めた。またあらたな活動も取り入れることで、より楽しんで頂けるよう内容をより深めていきたい。

② サービスの質の向上

●衣服への配慮

・全体を通して、衣服への配慮が薄かったように感じる。職員によっては衣服の更衣が出来ていない職員もいた。また、外出する際に調整もできていないこともあった。今後も継続して全員ができるよう指導していく。

●食事への配慮

・食事への配慮に関しては季節感ある食事の提供、選択メニュー他、利用者個々の実態に合った食事メニューの提供ができた。

●住環境への配慮

・住環境への配慮についてはトイレ掃除・棟内清掃・草刈りの時間を作ることで清潔に保てるようになってはきている。これからもより清潔に保てるように、職員の意識も高めていきたい。

③乗馬療育について

・4月より馬小屋職員と話し合いを重ね、コースを初級・中級・上級と3つに分け、個々に合った乗馬プログラムを作成する。6月よりコース別に分けて乗馬を実施した。乗馬療育に対して少し踏み込んだ形となってきている。
今後、より皆さんに楽しんでもらえるように馬小屋職員と連携して新たな案を考えていきたい。

④地域社会との連携

・小坂地区の行事に以前は子供神輿のみで参加していたが、今年度は夏祭り、子供神輿、とんど、草刈りに参加した。今後も参加していきたい。
・家族への連絡・報告・相談の徹底に努め、情報提供を積極的に行なったことで以前より苦情は減ってきており、家族の協力もしてもらえるようになってきた。
・満足度調査に関しては10月に実施して苦情も減っては来ているが今後改善していく点もあったため、より良いサービスが提供できるように、今後も引き続き実施していく。

2. 施設入所支援

・夜間の生活について

医師・看護師・栄養士・家族と連携し、個々の状態に合わせて入浴、排泄、食事、衣服の調整に務めたことで睡眠リズムが崩れる方は減り、体調不良者も以前に比べ減ってきている。

・年末年始にかけて嘔吐下痢を伴う体調不良の方が多数感染した件に関しては今後被害の軽減に繋がるよう検討していく。

3. 短期入所

・昨年の利用実績(4月～11月36.5%)から今年度は(4月～11月56.2%)とおおよそ20%稼働率も上がってきている。今後、よりたくさんの方に使って頂けるように、色々な事業所にも声掛けを行なっていく。

表町分場

1. 生活介護

・活動については個々に作品を作り、県立図書館に展示をしてもらう。
・利用者増員には至っていない。
・5名のうち1名は分場利用ができていないが、本場での利用はできる。
・外出及び行事は年間を通じて行なうことができる。クリスマス会については家族も参加してもらい、調理実習を行なう。

2. 日中一時支援事業

・見学者ならびに利用希望者はなかった。

3. 実習生受け入れ

・昨年度は1名あった。岡山東支援学校から実習生を受ける。